

2012年度 春学期
授業評価アンケート

学部版 実施手順



関西大学

2012年度春学期 授業評価アンケートの実施について

教育開発支援センター長

1 趣旨・目的

より質の高い教育を行うためには、直接学生の声を聞き授業に反映させることが必要であるとの認識に立って、その有効な手段である「授業評価アンケート」を全学的に実施します。「授業評価アンケート」の活用により、受講生が実感できる授業改善を目指します。

2 対象

全開講科目を対象（複数担任科目、実験科目、特別研究等を除く）とします。対象となる科目のアンケート用紙をお渡しします。

3 アンケートの種類

授業評価アンケートは学期中最大2回実施可能です。学期中間に行う「中間アンケート」と、第14～15回目授業時に行う「最終アンケート」があります。詳細は下表のとおりです。

【アンケートの種類別・位置づけ・様式・設問構成】

| アンケートの種類・方式 | 位置づけ | 様式 | アンケートの設問構成 |
|-------------------------|--|-------|-------------------------------|
| 中間アンケート (WEB方式のみで実施) | 【最終アンケートの補助的役割】 ・学期中の授業改善に活用するためのアンケート →即時に改善可能な8項目に絞って実施します。 | 全科目共通 | ① 共通設問8問(二者択一式) ② 自由記述 |
| 最終アンケート (紙方式のみで実施) | 【メインとなる授業評価アンケート】 ・次学期以降の授業改善に活用するためのアンケート →5段階評価マークシートでは、詳細な結果を記載した「フィードバックシート (step3 参照)」を返却します。 | 5段階評価 | ① 設問20問(選択式) ② 自由設問(選択式)1問 |
| | | 自由記述 | ① 自由記述 |

4 中間アンケートの実施時期と実施の流れ

【概要】



【実施の流れ 詳細】

Step1 実施に関する事前調査

中間アンケートでは、「実施に関する事前調査」を行います。詳細は下表の通りです。

| | 中間アンケート |
|---------|--------------------|
| 調査期間 | 4月4日(水)~5月13日(日) |
| 調査内容 | 実施科目の選択 |
| 事前調査の方法 | WEB(インフォメーションシステム) |

Step2 自由設問の作成

中間アンケートでは、アンケート実施期間前に自由設問を作成することができます。

事前調査回答後にインフォメーションシステムより設定可能です。

Step3 アンケートの実施 (WEB方式)

(1) 受講生への周知

中間アンケート実施 1 週前の授業時に受講生へ以下の3点をご周知ください。

(ア) 「インフォメーションシステム (WEB)」で授業評価アンケートを実施すること

※ 実施手順は「インフォメーションシステムマニュアル (学生用)」を参照するようご指示ください。
マニュアルは授業支援ステーションや教員控室にてお渡ししています。

(イ)実施期間 (5月14日~5月26日)

(ウ)授業評価アンケート趣旨

※（説明例）

本アンケートは、より質の高い教育を行うために直接皆さんの声を聞き、授業に反映、また改善していくことを目的としています。担任者が授業を一層充実させるための資料であり、回答により個人が特定されることもありません（※実際にシステム仕様上不可能です）。

また、成績評価と全く関係がありません。アンケートの趣旨をよく理解し、授業に係わる全てについて正直な声をお聞かせください。

(2) 回答状況のチェック

インフォメーションシステム上で随時回答状況をチェック可能です。回答締切前であっても、随時途中経過をチェックすることができます。

※ 回答状況のチェック方法は「インフォメーションシステムマニュアル（教員用）」66 ページをご参照ください。マニュアルは授業支援ステーションや教員控室にてお渡ししています。

Step4

実施結果の閲覧

中間アンケートでは、リアルタイムでインフォメーションシステム上から確認できます。また、自由記述も一覧表示されます。

Step5

受講生へのフィードバック

受講生へのフィードバックとして、コメント・集計結果を担当者の判断によりインフォメーションシステム上で公開することができます。

コメントの入力方法や、コメント・集計結果の公開範囲の設定方法は、「インフォメーションシステムマニュアル（教員用）」67 ページを参照してください。

5 最終アンケートの実施時期と実施の流れ

【概要】



【実施の流れ 詳細】

Step1 アンケート用紙の送付

(1) 最終アンケート対象科目について

最終アンケートは、全開講科目を対象（複数担任科目、実験科目、特別研究等を除く）とします。対象科目のアンケート用紙を担当者に送付します。

(2) アンケート用紙入りの封筒のお受け取りについて

専任教育職員・非常勤講師によって受け取り方法が以下のように異なります。

- 専任教育職員 ⇒ 実施期間直前にメールボックスへ投函されたものをお受け取りください。
※ 所属学部のあるキャンパス以外でのご担当科目分は、開講学舎の教員控室でお受け取りください。
- 非常勤講師 ⇒ 実施期間中の最初の授業日に授業開講学舎の教員控室でお受け取りください。

受け取り後、以下の内容物が封入されているかご確認ください。

- (ア) 実施手順
- (イ) 学生回答用アンケート用紙（5段階評価マークシート、自由記述用紙）
- (ウ) 教員回答用アンケート用紙
- (エ) 記入済み自由記述用紙封入封筒

(3) アンケート用紙の選択について

学生回答のアンケート用紙は、5段階評価マークシートと自由記述用紙の2種が同封されています。①マークシートと自由記述用紙併用、②マークシートのみ使用、③自由記述用紙のみ使用の3パターンから実施するアンケート用紙を選択してください。

②、③のパターンを選択する場合、使用しない用紙は「未使用アンケート用紙回収BOX」に返却してください。

Step2

アンケートの実施

(1) 授業中にアンケート実施

(ア) 受講生に授業評価アンケート趣旨を説明

(イ) アンケート用紙を配付

(ウ) マークシートは用紙の指示通り記入すること、及び自由記述用紙への記入を指示

※ 授業の趣旨に合わない設問は回答不要とご指示ください。ただし、設問 16～19 は必ず回答するようにしてください。また、学籍番号・氏名欄への記入は担任者の任意です。記名させる場合は、個人情報保護の観点からその取扱に十分配慮してください。また、記名させない場合は回収時に担任者が個別に回答内容をチェックしないようにご配慮ください。

(エ) (担任者の判断により自由設問を作成した場合)

板書等で質問事項を受講生に示し、5段階で評価するよう指示

(オ) アンケート用紙を回収

◆アンケート用紙の受講生への配付・説明・回収は、担任者ご自身で行ってください。

※受講生が多く授業に支障が出ると予想される場合は、各学舎授業支援ステーション等にご相談ください。

◆実施時間は20分程度を想定していますが、履修者数や授業の進行等により適宜ご判断願います。

(2) 教員回答用アンケートの回答

担任者にも「教員回答用アンケート（教員版アンケート）」にご回答頂きます。設問内容は学生とほぼ同様です。学生回答との比較に使用致します。

(3) 回収方法と提出先

受講生の回答済アンケート用紙を回収していただき、教員版アンケート用紙とあわせて封筒に入れ、各学舎授業支援ステーションまたは教員控室に提出してください。「自由記述用紙」は、回収後そのまま担任者にて保管してください。

Step3

実施結果の閲覧

最終アンケートでは、実施から約2～3週間後にインフォメーションシステム上で確認できます。

※自由記述は、各担任者で保管・記載内容の確認を行ってください。

最終アンケートでは、「フィードバックシート」（下図参照）を閲覧することが出来ます。「フィードバックシート」には平均値や度数分布の他に、「総合指標との相関分析」や「教員回答との比較分析」結果等が記載されています。次学期以降の授業改善のためにご活用頂けます。

The screenshot displays a 'Feedback Sheet' (フィードバックシート) with several key sections highlighted by yellow boxes:

- 授業属性 (Class Attributes):** A table listing course details such as course name, department, and instructor.
- 各設問の回答分布 (Response Distribution for Each Question):** A table showing the distribution of responses for various questions, including counts for different response categories.
- 回答者数 (Number of Respondents):** A table showing the number of respondents for different groups or sections.
- 各項目の重要度と充足度のプロット図 (Plot of Importance and Sufficiency for Each Item):** A scatter plot showing the relationship between the importance of each item and the perceived sufficiency of the response.
- 学生回答と教員回答の比較 (Comparison of Student and Teacher Responses):** A chart comparing student and teacher responses for various items.
- フィードバックシートの読み方 (How to Read the Feedback Sheet):** A section providing instructions on how to interpret the data presented in the sheet.
- 留意事項 (Notes):** A section containing important information and caveats regarding the data and its use.

フィードバックシート イメージ図

Step4

受講生へのフィードバック

受講生へのフィードバックとして、コメント・集計結果を担任者の判断によりインフォメーションシステム上で公開することができます。

コメントの入力方法や、コメント・集計結果の公開範囲の設定方法は、「インフォメーションシステムマニュアル（教員用）」67ページを参照してください。

6 その他

授業評価の結果は、勤務評定には利用しません。

以下に、インフォメーションシステムマニュアル（教員用）の抜粋とアンケート用紙を添付しています。適宜ご参照下さい。

以上

【授業評価アンケートシステムへのアクセス方法】

- ① インフォメーションシステムにログイン（ID・パスワードを入力）
- ② 左メニューにある「授業評価アンケート」をクリック

※授業評価アンケートシステムの詳細な使い方は「インフォメーションシステム操作マニュアル（教員用）」56～69ページをご参照頂くか、内線 3814 までお問い合わせください。

授業評価アンケート実施に関するご質問等は下記までお問い合わせください。

教育開発支援センター（内線：3814 メールアドレス：k-kyugyo@ml.kandai.jp）